平成29年度 活動記録

事業所緑化

川崎市みどりの事業所推進協議会

大同特殊鋼株式会社 川崎テクノセンター

平成29年度川崎市環境功労者表彰受賞事業所

市民100万本植樹運動

鷺沼公園植樹祭　平成29年10月28日(土)開催

川崎市は、平成22年度から、平成36年の市制100周年に向けて、市民・事業者と協働して市内に100万本の植樹を進める「市民100万本植樹運動」を推進しています。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」では、この事業に協賛しており、各事業所敷地内への植樹や、植樹祭への支援、社員の参加などの協力をしています。

平成29年度は、宮前区の鷺沼公園で植樹祭を開催いたしました。当日は、約360名の市民・関係者が参加し、桜、キンシバイ、シモツケ、アセビ、ミツマタ、テルテモモの苗木を505本植樹しました。

目　次

会長あいさつ　富士電機株式会社 川崎工場長　長谷　徹　1

市長あいさつ　川崎市長　福田　紀彦　2

事業所の取組

日本電気株式会社　玉川事業場　3

三菱ふそうトラック・バス株式会社　4

川崎市みどりの事業所推進協議会の活動（平成２９年度）　5

幹事会の記録（平成２９年度）　9

川崎市からのお知らせ　１０

緑化推進で持続可能な社会に貢献

川崎市みどりの事業所推進協議会

会長　長谷　徹

（富士電機株式会社川崎工場長）

平素より、「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

緑が身近にあることの楽しさ、穏やかさ、安心感といった癒しの感覚は、都市に働き、あるいは生活する者にとって、既に欠くことのできないものになっています。

川崎という日本有数の大都市にあって、私たち「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、事業所の緑化活動を通じて、私たち自身の働く環境を豊かにしていくと同時に川崎市の緑化にも取り組んできました。

当協議会の活動は、事業所の緑化目標に向けた直接的な緑の創出、維持に加えて、各事業所の従業員を含めた全てのステークホルダーに対して、緑化活動を通じた環境意識の醸成という役割を担っていると考えています。緑を作り、守り、育てること、そして緑を楽しむことをより多くの人が意識すれば「最幸のまち　かわさき」にも貢献できるのではないでしょうか。

企業は、CSR 活動等による持続可能な社会の実現に向けた役割を期待されています。当協議会もその一端を担うものとして様々な活動を実施するとともに、川崎市の取組みにも積極的に協力してまいります。

例えば、川崎市で進められている「市民１００万本植樹運動」があります。これは市制１００周年を迎える平成３６年度までに市民、事業者、行政の協働により、市域に１００万本の植樹を目指すものです。平成２９年9月３０日時点では、８２万３９０２本まで植樹が進められています。当協議会は、この植樹運動を始めとした様々な活動への参加と緑地の増加と保全を通して、魅力のあるまちづくりに協力してまいります。

また、講演会、講習会、施設見学会等の会員相互の連携・親睦を深める活動も引き続き進めてまいります。皆様の積極的なご参加をよろしくお願い致します。

今年度も緑豊かなまちづくりに官民一体となって取り組んでまいりますので、関係各位のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

「最幸のまち　かわさき」をめざして

川崎市長　福　田　紀　彦

「川崎市みどりの事業推進協議会」の加盟事業所の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より市政に対し御理解、御協力をいただきますとともに、本市の発展に多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

川崎市では「最幸のまち　かわさき」をめざし、その一環として、これまで緑や環境を「守る」取組を進めてまいりました。

水と緑が身近にあることは、暮らしに潤いを与え、質を高めることにつながります。今後は緑を「守る」取組に加え、より身近に感じ、楽しんでいただける魅力的な空間に変え、賑わいを創出するとともに、市民の皆様にも御協力いただき子どもたちが「わくわく」しながら遊べる場とする取組にも、チャレンジしたいと考えています。

また、引き続き環境を守るため、水素発電など最先端の環境技術を活用するとともに、ごみ排出量の削減に向けた地道な取組を積み重ねるなど、市民、企業、行政が一体となり、力を合わせて環境保護に取り組んでまいります。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」が発足した昭和４７年当時約９８万人だった本市の人口も、平成２９年４月に１５０万人を突破しました。全国的に人口減少が続く中での人口増は、近年の再開発や都市機能の整備に伴い、都市の魅力が向上してきたことに加え、緑を増やし環境を良くするといった市民一人ひとりや、企業の皆様の取組により、「選ばれるまち」に川崎がなったのではないかと考えています。

１５０万人都市になった現在、人口の増加と同様に、「川崎市みどりの事業所推進協議会」加盟事業所の緑地面積も増加し、発足当初の約３８ha から現在では約１５５ha もの緑が創出されております。これも加盟事業所の皆様の継続的・献身的な御尽力によって事業所緑化が進められた結果です。

今後も引き続き、皆様の事業所の緑化を推進していただくとともに、本市の緑化行政に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業所の取組　日本電気株式会社（ＮＥＣ）　玉川事業場

事業所紹介

① 所在地　　　：川崎市中原区下沼部1753
② 操業開始時期：玉川向工場として1936年（昭和11年）、無線、真空管関係の生産を開始
③ 敷地面積　　：167,369㎡
④ 従業員数　　：約18,000名
⑤ 主要事業　　：パブリック事業、テレコムキャリア事業、システムプラットフォーム事業

生ごみ堆肥化による緑の循環活動

1997年から、社員食堂で発生する生ごみ（約50～60t／年）を生ごみ処理機によりコンポスト化（堆肥：約1/5程度に乾燥）し、川崎市内の野菜農家に有機栽培用堆肥としてご活用いただいています。また、堆肥を用いて栽培された野菜を農家から購入し、社員食堂で食材として調理、提供することで野菜（緑）の循環を行っています。さらには、この野菜を社内売店で販売することで、社員及びその家族を含めた環境意識の啓発につなげています。

加えて、当事業場の見学にご来場される行政機関や企業、地域の学校などの皆様にも、緑の循環活動の事例紹介や堆肥のサンプル配布などを通じて、微力ではありますが緑の輪を広げる活動の普及にも努めています。

地域貢献・スポーツ活動

玉川事業場のルネッサンスシティホールで、10月にNEC玉川吹奏楽団によるコンサートを開催しており、近隣にお住まいの皆様を含めて毎回約600名の方々がご来場され、ご好評をいただいています。コンサートの際には募金をお願いし、日本盲導犬協会への募金活動などの支援を行っています。

また、玉川事業場は女子バレーボールチーム・NECレッドロケッツの本拠地となっています。2017年にはV・プレミアリーグ6度目の優勝を果した強豪チームの1つです。川崎市のホームタウンスポーツ推進パートナーとしても活動しており、地域の皆様から熱いご声援をいただいております。

コンサートの演奏風景

チャリティイベント

ＮＥＣレッドロケッツ

三菱ふそうトラック・バス株式会社

事業所紹介

ＦＵＳＯは、世界で最も成功している自動車メーカーの一社、ダイムラーＡＧの構成組織です。メルセデス・ベンツ乗用車・バン、ダイムラートラック・バス、フィナンシャルサービスなど、ダイムラーグループは世界首位の自動車メーカーかつ、グローバル展開をする商業自動車の世界最大規模のメーカー。その中でＦＵＳＯは小型トラックの開発やハイブリッド技術の開発の中心を担っています。バーラト・ベンツと並び、ＦＵＳＯはダイムラートラックアジアを代表する企業です。

また、生産ラインとしましては、大型から中型、小型までの各種のトラック・バスとディーゼルエンジンを生産しており、日本を始め世界150カ国以上へ輸出しております。

※　川崎製作所　事業所面積452,569㎡　緑化面積55,574㎡　緑化率12.3%

ＦＵＳＯグリーンガーデン

川崎市平間配水所用地の再編整備により生じた未利用地、約16,000㎡の有効利用として、災害時に一時避難場所としても活用出来る緑地の整備を進めてきました「ＦＵＳＯグリーンガーデン」が2018年１月にオープンしました。（芝生エリアは6月中まで芝の養生のため立入禁止）

場所はＪＲ南武線の平間駅と鹿島田駅の間でどちらの駅からも歩いて約10分、近隣住民の要望にも対応し、健康ベンチの導入やグランドゴルフが可能な緑地となっています。

また、一部は生物多様性に配慮したエリアとし、草刈の頻度を抑えて昆虫等の生息域の確保や、蝶を誘致するための花壇を整備する計画です。それにより昆虫類を餌とする野鳥が増えることも期待しています。

皆様もぜひ一度お立ち寄りください。

川崎市みどりの事業所推進協議会の活動(平成29年度)

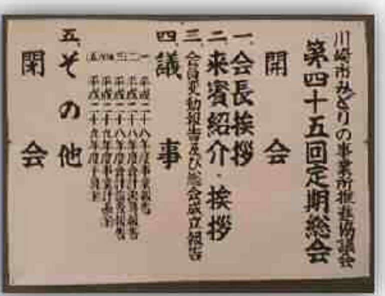
４月２０日（木）

第４５回定期総会・講演会

参加者：２７事業所　３１名

場　所：川崎日航ホテル

【定期総会】



【講演会】

演題：「足元の自然をみつめる」

講師：和光大学・かわ道楽

6月1日（木）

川崎市環境功労者表彰式

表彰事業所：大同特殊鋼株式会社　川崎テクノセンター
部　　　門：緑の保全及び緑化の推進
場　　　所：川崎市役所第４庁舎ホール

◎事業所紹介

昭和４７年に川崎市と工場緑化協定を締結した当初は、１．５１％の緑化面積でしたが、「環境や景観の向上に向けた緑地化」を目指し、昭和６３年に「川崎市みどりの事業所推進協議会」の工場敷地の緑化努力目標である１０％を突破しました。

その後も社員の緑化意識の高揚と、環境や景観などの向上を踏まえた緑化に努め、平成２８年度末現在で１０．２４％（約６，１５４㎡）の敷地内の緑化をしています。

１０月（都市緑化月間）

緑化啓発グッズ配付

配付植物：「モンステラ」又は「サクラ（苗木）」※選択制

【モンステラ（観葉植物）】
原産地　：　熱帯のアメリカ
特　徴　：　常緑の多年草で暑さに強く、耐陰性に優れている。

１０月５日（木）

施設見学会

事業所緑化の優良施設を見学し、緑化に対する意識の高揚、緑化推進への動機づけを図ることを目的として、施設見学会を実施しています。

訪問場所：株式会社小松製作所　小山工場
（平成２８年度　日本緑化センター会長賞受賞工場）
参 加 者：１１事業所　１６名

◎参加した皆さんの感想
・天候もよく、見学場所も良かった。楽しかった。
・工場見学も勉強になった。
・場所は、関東一円で良い。
・もっと PR して多くの事業所の方に参加してもらいたい。

１１月２２日（水）

講　習　会

花や緑に親しむことを目的として、年末年始用の寄せ植えづくりなど講習会を開催しています。

場　　所：川崎市総合自治会館
演　　題：「正月用の寄せ植えづくり」
講　　師：株式会社泉樹園　代表取締役 手塚賀久氏
参加人数：１３事業所　１８名

最優秀作品
サントリーMONOZUKURI
エキスパート㈱ 竹下さん

◎参加した皆さんの感想
・お正月用の寄せ植えは初めてで、とても楽しかった。
・花苗の種類の写真、説明があり良かった。
・松竹梅、コケリウム、ミニ盆栽、多肉植物をやりたい。
・来年はもっと多くの方に参加してもらいたい。

優秀作品
昭和電工㈱　宮嶋さん

優秀作品
東亜石油㈱ 井上さん

３月

広 報 活 動

機 関 紙：「事業所緑化≪平成２９年度活動記録≫」
発行年月：平 成 ３ ０ 年 ３ 月
発行部数： １ ５ ０ 部
配 布 先：会 員 事 業 所 ほ か

幹事会の記録（平成29年度）

第１回幹事会

平成２９年６月７日（水）
ミューザ川崎シンフォニーホール会議室２

１　平成２９年度事業計画に基づく年間スケジュールについて
２　平成２９年度施設見学会について
３　（公財）かながわトラストみどり財団緑の募金への協力について
４　第２回幹事会の日程について
５　講習会の日程について

第２回幹事会

平成２９年９月１５日（金）
ＪＸＴＧエネルギー株式会社　川崎製造所

１　平成２９年度施設見学会について
２　平成２９年度講習会の開催について
３　都市緑化月間における記念品の配付について
４　平成２９年度市民１００万本植樹運動鷺沼公園植樹祭への協力について
５　第３回幹事会の日程について
６　第４６回定期総会の日程について

第３回幹事会

平成３０年１月１９日（金）
ミューザ川崎シンフォニーホール会議室３

１　第４６回定期総会について
２　平成３０年度講演会について
３　平成２９年度機関紙「事業所緑化」の作成について
４　平成２９年度施設見学会実施報告について
５　平成２９年度講習会実施報告について
６　平成２９年度予算執行状況報告について
７　第４回幹事会の日程について

第４回幹事会

平成３０年３月１６日（金）
ミューザ川崎シンフォニーホール会議室３

１　第４６回定期総会の開催について
２　第４６回定期総会に付する議案書（案）について
３　平成３０年度講演会について
４　平成２９年度機関紙「事業所緑化」について

川崎市からのお知らせ

企業等と連携した新たな緑地保全施策「かわさき里山コラボ」

身近な里山は、癒しの空間であるだけでなく、生き物の生息生育機能、二酸化炭素の吸収源、緑のダムとしての機能など、我々の生活に欠かすことのできないものです。
あまり知られていないかもしれませんが、実は川崎市にも多くの里山が残されております。

現在、下表のとおり保全管理活動に関する協定等を締結し、年２～３回、竹伐採やササ刈りなどの保全管理活動を行っています。回数を追うごとに、綺麗になっていく里山を実感していただいています。今後も実施箇所を増やしていきたいと考えておりますので、御興味のある事業所の皆様はぜひ事務局までお声掛けをお願いします！！

保全管理活動地区	締結先企業等
栗木山王山特別緑地保全地区（麻生区栗木：2.0ha）	富士通株式会社川崎工場
久末東特別緑地保全地区（高津区久末：0.7ha）	NECプラットフォームズ株式会社、他
王禅寺東特別緑地保全地区（麻生区王禅寺東：0.9ha）	川崎信用金庫
岡上丸山特別緑地保全地区（麻生区岡上：1.3ha）	岡上小学校及び和光大学
久末イノ木特別緑地保全地区（高津区久末：0.9ha）	日本ロレアル株式会社

屋上緑化・壁面緑化助成事業

屋上緑化

1　助成基準　樹木、芝等により、建築物の屋上を３㎡以上緑化するもの
2　助成対象経費　植物及び植物基盤材（土壌等）の購入経費、防水、潅水、排水設備の設備費等
3　助成金額　要した費用の２分の１に相当する金額
ただし、１㎡あたり１万円、１件あたり１００万円を限度。

壁面緑化

1　助成基準　つる性植物等により、建築物の壁面を幅５ｍ以上、又は面積３㎡以上緑化するもの（ゴーヤなどの一年草は対象外）
2　助成対象経費　つる性植物等、支え材等資材の購入経費
3　助成金額　要した費用の２分の１に相当する金額
ただし、１㎡または１ｍあたり１万円、
１件あたり５０万円を限度

※工事開始後の申請は対象外です。詳細は事務局までお問い合わせください。

公共のみどり助成制度

　不特定多数の人々の目に触れ、地域の景観形成に寄与している事業所の緑化地などを「公共のみどり」として認定し、その維持管理・樹木の保存等に要する経費の一部を助成する事業です。

　助成額は、基本助成額（緑化面積に応じて２万円～５万円）＋３０円/㎡です。制度の詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

平成28年度事業所緑化データ

協定締結事業所　６７事業所　　緑化率　１０．９％（昭和４７年発足時３．６％）

緑　化　面　積　１５５．7ha

緑化率１０％以上達成事業所

１０％台	２４事業所
２０％台	１２事業所
３０％台	４事業所

編集後記

　平成２９年４月に１５０万人都市になった今年の「市民１００万本植樹運動植樹祭」ではソメイヨシノの記念植樹をはじめ５０５本の植樹を行い、メモリアルプレートも設置し、大勢の参加者のもと盛大に植樹祭を開催することができました。参加者へのお土産として今年もみどりの事業所推進協議会からの御寄附によりお土産用の花・苗木等配布させていただきましたことをこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

　事務局としましては、事業所の活動である施設見学会や講習会により多くの会員事業所様に御参加していただき、今後、事業所間の連携を密にしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

発行日　　平成３０年３月
発　行　　川崎市みどりの事業所推進協議会
（川崎市建設緑政局緑政部みどりの協働推進課内）
電　話　　０４４－２００－２３８０

川崎市緑化基金

川崎市内の「緑」を守り・育て・増やすために
基金への御協力をお願いします！

●緑地保全の奨励
●保全緑地の管理計画づくり

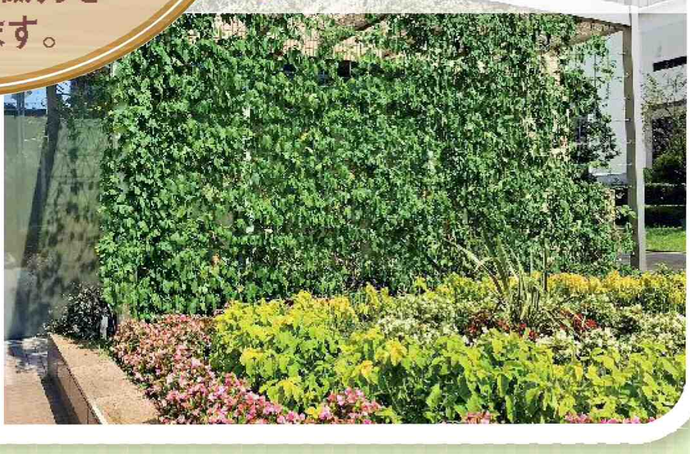
●市民緑化運動の推進
（市民植樹運動や、思い出記念樹配布）

皆様からいただいた寄附金は基金として活用し、民有地を含む都市緑化に役立てられています。

みなさまの御協力をお願いします。

●緑の活動団体助成
●生垣づくり助成
●駐車場緑化助成

●屋上・壁面緑化の助成
●緑のカーテン



基金への寄附と税の控除について

法人の場合

確定申告によって、寄附された金額を法人税法(第37条)の規定により、損金参入することができます。

お問合せ

川崎市 建設緑政局
みどりの協働推進課

電話（044）200-2380　FAX（044）200-7703

（公財）川崎市公園緑地協会
（各種助成などの手続）

電話（044）711-6631　FAX（044）722-3921

日本電気株式会社 玉川事業場

三菱ふそうトラック・バス株式会社